

**四国圏広域地方計画に関する
プロジェクト検討参考資料
(プロジェクト骨子及び説明図表)**

平成21年3月27日

四国圏広域地方計画協議会幹事会資料

本資料は、広域地方計画に位置づけるプロジェクトに関する四国圏広域地方計画協議会構成機関による平成 21 年 3 月末時点での検討の概要を骨子及び説明図表として整理したものであり、今後これを基礎として、更なる検討を加え、プロジェクトに関する記述内容を中間整理に加えていくものである。

四国圏広域地方計画 プロジェクト骨子(案)

【人と文化を育む産学官連携プロジェクト】

■目的・コンセプト

- ・今後、圏域の持続的発展に向けて、「四国はひとつ」という意識を共有しつつ、新分野や地域の歴史・文化を活かした地域振興等の取組に挑戦し、四国圏やそれぞれの地域の将来を担う人材を育てるとともに、その土壌を育むことが不可欠であるが、人口減少や高齢化の進行に伴い、地域社会を支える人材の不足、地場産業における後継者問題、研究開発を支える人材の交流不足が懸念されていることから、産業連携、文化継承、地域振興、子育て等様々な分野での具体的な取組を担う人材の育成とそのための環境づくりに、四国圏が連携して取り組んでいく必要がある。
- ・このため、(1)「四国はひとつ」という意識を共有し四国の将来を支える人材の育成、(2)四国の文化交流や伝統芸能等の継承に向けた人材の活用、(3)地域や社会の新たな活力を担う人材の活用・育成、(4)次世代育成のための環境づくりに重点的に取り組む。

■具体的取組内容

- (1)「四国はひとつ」という意識を共有し四国の将来を支える人材の育成
 - ・各大学・大学院レベルでの連携の発展、定期的な研究会・交流会等の開催による四国4県の地域シンクタンクの連携強化、四国全域の地域政策を研究・立案するシンクタンク構想の具体化
 - ・四国に根付き、四国に関する幅広い知識や専門知識を持って地域に貢献する人材を育成するため、四国の大学の連携により各大学の特徴ある講義を「四国の知」としてe-Learningコンテンツにより提供する「e-Knowledge コンソーシアム四国」の推進
- (2) 四国の文化交流や伝統芸能等の継承に向けた人材の活用
 - ・四国4県共同の舞台芸術事業の開催等4県の連携による文化交流や伝統芸能の継承に向けた情報発信や交流の促進
 - ・四国・九州アイランドリーグ等地域交流に重点を置き地域に密着したスポーツの振興
- (3) 地域や社会の新たな活力を担う人材の活用・育成
 - ・四国の産業界をはじめとする多様な人材育成ニーズに対応し、優秀な人材を持続的に提供していく産学連携による新たなプラットフォームの構築
 - ・愛媛大学大学院における船舶工学関連の寄付講座の開設及び船舶工学特別コースの設置や今治地域造船技術センターと因島技術センター等との交流等、企業と大学の連携や中国圏との連携による人材育成の取組の推進
 - ・高知大学の土佐フードビジネスクリエーター人材創出に関する取組等産学連携による産業分野での先導的中核人材育成の促進
 - ・サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト事業、社会人基礎力事業等、最先端の科学技術の体験教育や次世代の社会人基礎力の育成の推進
 - ・各県のシルバー人材センターやジョブカフェ等4県の連携による高齢者の雇用創出や若者の就職促進、OB人材情報等の情報発信の推進

- ・愛媛県松山市が行っている地域リーダー養成セミナー、若年就農者や定年就農等による地域農業の担い手育成等地域づくり・まちづくりを牽引する人材や地域の産業を支える人材の研修等の推進

(4) 次世代育成のための環境づくり

- ・各県が実施している子育て家庭優待事業の相互利用等、4県の連携による子育て家庭を対象とした割引特典や支援サービスの相互提供等の取組の促進
- ・香川県内で行われている企業の子育て支援活動促進事業等、企業と地域社会の連携による子育て支援活動の促進
- ・NPOが取り組んでいる「子育てタクシー」や子育て経験者による子育てボランティア等地域全体で子育てを支援する取組の推進

四国圏広域地方計画 プロジェクト骨子(案)

【緑の島四国の森林共生プロジェクト】

■目的・コンセプト

- ・ 四国圏の面積の約75%を占める森林は、国土の保全、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、木材の供給等の多面的機能を有し、圏域住民の生活に広域的に恩恵をもたらす「緑の社会資本」である。また、国産材需要の増加傾向、CO₂吸収源としての価値の高まりを受け、これらの資源を活用した圏域の活性化を図るとともに森林資源の持続的な循環利用を推進し、この恩恵を次世代に引き継いでいく必要がある。
- ・ このため、全国モデルとなるような取組を柱として、(1)CO₂吸収源としての価値に着目した取組、(2)林業と木材産業の一体的な再生及び森林資源の循環利用、(3)四国の美しい森林づくりに重点的に取り組む。

■具体的取組内容

(1) CO₂吸収源としての価値に着目した取組

- ・ 森林保全活動に対しCO₂吸収量を認証する「CO₂吸収認証制度」について、これまでの各県の取組成果を踏まえて四国圏全体における認証制度の導入を推進
- ・ 国内の温室効果ガス削減のための国内CO₂排出権取引「オフセット・クレジット制度」を活用した、森林の間伐活動の促進

(2) 林業と木材産業の一体的な再生及び森林資源の循環利用

- ・ 住宅メーカー・地元工務店等と事業共同組合によるネットワーク形成、住宅資金貸付制度等による支援、FSC認証等による付加価値の向上を通じた民間住宅等への四国産木材の販路・活用の拡大及び公共施設の整備における四国産木材の活用の拡大
- ・ 生産・流通・加工のコストダウンに資する森林の団地化等の木材の安定供給・林業の再生を図る体制づくり
- ・ 公設試験研究機関と民間事業者による間伐材・未利用材と廃プラスチック材等を循環活用したハイブリッド木質材の開発・利活用、4県の公設試験研究機関の情報共有化
- ・ 「那賀町バイオマスタウン構想」等の木質バイオマス利用の拡大に向けた残材収集・搬送システムの開発、残材・間伐材の地産地消の促進、技術開発や製品の販路開拓の支援

(3) 四国の美しい森林づくり

- ・ 「四国の森づくりに関する共同宣言」に基づく行政、民間団体、住民等との協働による4県全域を対象とした森林整備、森林環境教育活動等の推進
- ・ フォレストマッチングや協働の森づくり等の圏域内外の企業等と行政、森林組合等との協定の締結等による森林づくりの推進
- ・ 自然環境の保全、再生や河川への濁水流出防止等に資する、吉野川、四万十川、肱川等における行政、NPO、上下流住民等の連携による流域保全の推進

- ・野生鳥獣被害の防止に向けた4県連携による個体数調査や適正な個体数への誘導等、適切な鳥獣保護管理の実施
- ・森林等の生態系保全・再生のための緑の回廊等の適正な管理の実施、広域・県・市町村各レベルでのエコロジカルネットワーク構想策定等に向けた取組の推進

四国圏広域地方計画 プロジェクト骨子(案)

【南海と瀬戸内の食彩展開プロジェクト】

■目的・コンセプト

- ・ 四国圏では、高知のかつお、愛媛のみかん等全国的にも有名な食材が数多く存在することから、これら「四国の食」ブランドの普及促進を展開して、商圈の拡大や1.5次産業化を進めることにより、圏域を支える産業の一つである農林水産業の競争力の強化を図るとともに、圏域内の食料自給力を高め圏域外へも安定的に食料供給できる体制を確立する。
- ・ このため、(1)「四国の食」ブランドの確立・強化に向けた生産者への支援、食関連産業の育成、(2)東アジアをはじめとする国外や国内市場における競争力強化、(3)「四国の食」ブランドを支える農林水産物の生産体制の確立に重点的に取り組む。

■具体的取組内容

- (1) 「四国の食」ブランドの確立・強化に向けた生産者への支援、食関連産業の育成
 - ・ 「とくしま安²（あんあん）農産物」認証制度等の品質強化のための4県共通の認証制度設計の取組や海外向け製品のMSC認証の獲得等によるブランド力の強化
 - ・ 「なると金時」「ひけた鯛」「西宇和みかん」「四万十川の青のり」等、四国圏の地域団体商標登録の普及拡大
 - ・ 産学官連携・農商工連携による栽培・養殖技術や新品種改良等の技術開発の促進
 - ・ 「土佐黒潮牧場」のような生産量増加に向けた取組、各県で取り組まれている農商工連携ファンド等による農林水産業の経営強化に向けた支援の推進
 - ・ 地産地消の促進に向け、愛媛大学南予水産研究センターで取り組まれている「ぎょしょく教育」、今治市や南国市等で取り組まれている学校給食における地元産食材の利用や今治市で行われている「地産地消認証」等の普及拡大
- (2) 東アジアをはじめとする国外や国内市場における競争力強化
 - ・ 東アジアをはじめとする国外及び「香川・愛媛せとうち旬彩館」のような大都市圏での四国ブランド商品の販路拡大に向けた4県連携によるプロモーション活動の実施
 - ・ 流通コスト等の低減による四国産品の競争力の強化のため、西条市における「食品加工流通コンビナート構想」等、農商工連携による食品加工流通の集約化の普及促進
- (3) 「四国の食」ブランドを支える農林水産物の生産体制の確立
 - ・ 愛媛県におけるあぐりすとクラブのような農林水産業を支える経営感覚に優れた農林漁業者の育成や集落営農組織の育成・法人化、他業種等からの参入を含む新規就農者の育成・確保
 - ・ 地域農業の持続的発展や経営の安定等を図るため、香川用水の水路補修等、農地・農業用水等の生産基盤の適切な整備・保全を推進
 - ・ 高知県等で取り組まれている生産段階における「食品安全のためのGAP」の推進や食品の生産・流通情報を追跡、遡及できるトレーサビリティの取組の推進

四国圏広域地方計画 プロジェクト骨子(案)

【きらり輝く技術力・健康支援産業クラスター形成プロジェクト】

■目的・コンセプト

- ・四国圏には、世界的シェアを有する先端素材産業や地域ごとに特徴を有する多様な産業集積が存在し、それを支える技術力が蓄積されており、瀬戸内海沿岸域の造船・船用産業クラスターをはじめとするものづくりや健康・バイオを中心とした医療福祉分野に関するミニクラスターが形成されつつある。
- ・これらのミニクラスターを面的広がりのある重層的なネットワークへと発展させていくため、圏域内の市場の小ささ、新たな発想や時代を先取りする情報に触れる機会の少なさ等の課題を克服しつつ、広域連携等に向けた産業支援活動や産業基盤整備等を進め、造船業をはじめとするものづくりクラスターと健康支援産業クラスターの形成を目指す。
- ・このため、(1)クラスターの形成・成長に向けた取組の推進、(2)世界市場等への事業展開に向けた広域的連携の推進に重点的に取り組む。

■具体的取組内容

(1) クラスターの形成・成長に向けた取組の推進

- ・「今治海事都市構想」やバルク貨物等の輸送の効率化を図る臨海部産業エリアの形成等、造船・船用産業や海運業等の活性化に向けた取組の推進
- ・高知県と愛媛県の紙産業技術センターの連携等、各県公設試験研究機関における素材研究・製品開発等の実験機材・情報等の共有化による圏域内のクラスター間の連携推進
- ・「溶接・表面改質フォーラム」「ZnO ビジネス21フォーラム」「KAGAWA 機能糖鎖フォーラム」等、クラスター形成のコアとなる分野に関する産学官連携の取組の推進
- ・徳島県における「LED バレイ構想」「徳島健康・医療クラスター構想」や香川県における「糖質バイオクラスター構想」等産業クラスター形成等のための取組の推進
- ・とくしま経済飛躍ファンドやかがわ中小企業応援ファンド等、多様な主体の参加・連携によるクラスターを支える新事業展開を資金面等から支援する取組の推進
- ・静脈物流ネットワークの形成に向けたリサイクル拠点の整備の推進

(2) 世界市場等への事業展開に向けた広域的連携の推進

- ・四国テクノブリッジフォーラム等のビジネスマッチング交流会・産業研究会や「関西バイオ推進会議」への参画等による他圏域の産業クラスターとの連携、製品・技術・販路の交流・連携の促進
- ・展示会への出展やシンポジウムの紹介、「四国地区四大学発新技術説明会」や知的財産セミナーの開催等、大学等の研究成果の紹介や技術移転、産学連携の共同研究立ち上げ、知的財産活用を支援する取組の推進

四国圏広域地方計画 プロジェクト骨子(案)

【圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト】

■目的・コンセプト

- ・ 四国圏が自立し持続的に発展していくためには、交流人口を増やすとともに、住みやすい、住みたくなる地域とすることが重要であり、そのためには、圏域の活力や魅力を高め、地域力を向上させる必要がある。
- ・ そこで、圏域内の連携意識や一体感を高める地域の活動や交通ネットワーク基盤の強化等により、圏域内及び東アジアを含む他圏域との交流・連携を図るとともに、中心市街地の活性化等による都市機能の強化に取り組み、活力・魅力あふれる地域の形成を目指す。
- ・ このため、(1)交通インフラの整備等による圏域内における交流の活性化や国内他圏域との交流・連携の強化、(2)国際ゲートウェイとしての港湾・空港及び国際幹線航路の機能強化、(3)都市における機能強化・集約化と良好な都市空間の形成及び都市の役割分担と連携の強化に重点的に取り組む。

■具体的取組内容

- (1) 交通インフラの整備等による圏域内における交流の活性化や国内他圏域との交流・連携の強化
- ・ 圏域内外の交流活性化等による活力と魅力の向上に必要な四国8の字ネットワークの整備推進
 - ・ 国内他圏域と四国を結ぶ海上輸送の拠点となる複合一貫輸送ターミナル等の整備推進
 - ・ 都市と中山間地や重要港湾・空港と高速道路 IC を連絡する幹線道路の整備推進
 - ・ 整備局の「道路情報提供システム」等、道路情報や災害情報等の移動支援に向けた情報提供サービスや情報通信環境の充実
 - ・ 香川県内における地域住民や NPO による地域資源の見直しや圏域内外への地域住民からのメッセージ発信等の住民総参加型による地域力再生の取組の促進
 - ・ 「瀬戸内しまなみ海道振興協議会」の取り組み等本四架橋のより一層の効果的な利用による四国圏外との交流・連携の促進による広域観光の推進
- (2) 国際ゲートウェイとしての港湾・空港及び国際幹線航路の機能強化
- ・ 国際貿易の拡大による地域産業の活力向上や高効率な物流形態を構築するため、それぞれの港湾が持つ特長を活かした広域的な連携や船舶の大型化等に対応した多目的国際ターミナル等港湾施設整備の推進
 - ・ 瀬戸内海を航行する船舶の安全性及び物流の効率性向上のため、開発保全航路の開発・保全・管理の実施とともに、関係機関と連携した総合的な航行安全対策の推進
 - ・ 高松・松山空港間や近接圏域の空港との連携により、東アジア諸国等海外との国際定期便や国際旅客チャーター便の就航によるインバウンド観光の推進
 - ・ 港湾間の広域連携を図りつつ、ポートセールス等による四国の港湾と東アジア諸港を結ぶ国際定期コンテナ航路の就航便増加や新たな航路の誘致推進
 - ・ 国際海上コンテナ輸送の北米・欧州等の航路へのアクセス向上のため、スーパー中樞

港湾と結ぶ内航フィーダー網の充実

- ・国際ゲートウェイとしての魅力向上を図るため、港湾関連手続きの統一化・簡素化等、四国の港湾・空港におけるサービス水準の向上

(3) 都市における機能強化・集約化と良好な都市空間の形成及び都市の役割分担と連携の強化

- ・都市機能が強化・集約化された都市拠点の形成に向けた環状道路、市街地再開発や鉄道の高架化等の都市基盤整備の推進
- ・魅力的な歴史的風致をもつまちづくりの推進やまち並み環境の保全等による景観形成の促進
- ・まちなかへの公共公益施設の立地促進、都市公園・緑地の整備、空き店舗等既存ストックの有効活用等による良好な都市空間整備の推進
- ・歩いて暮らせるまち・環境に優しいまちの実現に向けた、公共交通の利用促進・利便性の向上、歩行空間等の整備推進
- ・愛媛県松山市における太陽光発電や高知県梶原町における小水力発電、バイオマス発電等自然エネルギー由来の電力創出を通じ、エネルギーが循環するまちづくりを推進
- ・徳島県徳島市を中心とした NPO 等による吉野川をはじめとする川を活用した賑わい創造の活動や、川を通じた周辺市町村との連携等による賑わいのあるまちづくりの促進
- ・生活に必要な都市機能を広域的な連携により確保する定住自立圏構想の取組の推進

四国圏広域地方計画 プロジェクト骨子(案)

【防災力向上プロジェクト】

■目的・コンセプト

- ・ 四国圏は、地形的特性や台風常襲地帯に位置していること等から、毎年のように水害、土砂災害、高潮災害等が発生しているとともに、近い将来、東南海・南海地震とこれによる津波の発生が予想されており、これらの災害に対応しうる防災力の向上が急務となっている。
- ・ また、慢性的に発生し、住民生活や企業活動等に大きな影響を与えている水不足に対しても適切に対応し、安全・安心に暮らせる災害に強い圏域を形成することが必要である。
- ・ このため、(1)地震災害や台風・豪雨災害の軽減に向けたインフラ整備と防災施設整備、(2)災害時の広域的な相互救援活動を円滑にする連携体制の整備や自主的な防災組織の確立に向けた住民の防災意識の向上、(3)新たな水資源の確保と水資源の有効活用等による安定した水資源の確保に重点的に取り組む。

■具体的取組内容

- (1) 地震災害や台風・豪雨災害の軽減に向けたインフラ整備と防災施設整備
 - ・ 圏域の安全・安心を支える基盤となる四国8の字ネットワークの整備推進
 - ・ 台風・豪雨による水害や土砂災害を軽減する河口導流やダム・砂防堰堤の建設、老朽ため池対策、治山施設の設置等の推進
 - ・ 津波や高潮の被害想定箇所における津波防波堤、海岸堤防の嵩上げ等の整備推進
 - ・ 緊急輸送道路等における橋梁耐震対策や防災対策の推進
 - ・ 「道の駅」の防災拠点化や臨海部の防災拠点として緊急物資輸送を担う耐震強化岸壁や避難地として機能する緑地等の整備推進
 - ・ 密集住宅市街地対策の取組等による地震発生時に危険な住宅密集地の解消
- (2) 災害時の広域的な相互救援活動を円滑にする連携体制の整備や自主的な防災組織の確立に向けた住民の防災意識の向上
 - ・ 自治体による洪水・津波・高潮等防災ハザードマップの早期整備・普及の推進
 - ・ 国の機関や4県が参画した「四国東南海・南海地震対策連絡調整会議」による広域合同演習の実施等、災害時の連絡体制の充実を目的とした取組の推進
 - ・ 「危機事象発生時における鳥取県・徳島県相互応援協定」等4県による四国圏内や他圏域との協定を活用した相互応援体制の構築の推進
 - ・ 国、県、自治体、大学、民間事業者による業務継続計画（BCP）の策定の推進
 - ・ 高知県の「みんなで備える防災総合補助金」等の制度を活用した、地域の防災力向上への取組の促進
 - ・ 県、自治体とコンビニエンスストア等の民間事業者等との連携による帰宅困難者支援協定の締結の推進
 - ・ 県、自治体による自主防災組織の結成促進及び育成や活性化の指導
 - ・ 自治体による高齢者等に対する災害時要援護者対策の推進

(3) 新たな水資源の確保と水資源の有効活用等による安定した水資源の確保

- ・ 新たな水資源の確保のための、渇水発生頻発地域におけるダム建設・既設ダムの再開発・ため池の整備の推進
- ・ 香川県多度津町における下水再生水の利用や高松市における雨水利用貯留施設等へ助成制度等、水資源の循環利用促進のための取組の普及拡大
- ・ 効率的な水資源利用のため、吉野川水系水利用連絡協議会等による渇水時における水利使用の調整、松山市で取り組んでいる「節水型都市づくり」の拡大
- ・ 「四国水問題研究会」での調査研究の成果を活かした四国圏における水資源の有効活用と治水・利水・環境の合理的な恒久対策及び実施方針の確立

四国圏広域地方計画 プロジェクト骨子(案)

【中山間地域・島しょ部活性化プロジェクト】

■ 目的・コンセプト

- ・ 四国圏内の中山間地域や半島部・島しょ部は、圏域内の大部分を占め、人口減少、耕作放棄地の拡大等基礎的条件の厳しい集落が多数存在するが、これらの地域の国土保全等を進め、住んでいる人が活力を持ち続け、地域活性化につながる取組が活発に営まれる地域づくりを目指すことが圏域の発展のために必要不可欠である。
- ・ また、全国のモデルともなっている先進的事例も数多く、これらの取り組みを圏域全体に拡大し、展開していく必要がある。
- ・ このため、(1)安全で安心できる生活環境づくり、(2)農林水産業をはじめとする地域資源を活かしたビジネスチャンスの拡大・働く場の確保、(3)都市との多様な交流促進と農山漁村の魅力の向上に重点的に取り組む。

■ 具体的取組内容

(1) 安全で安心できる生活環境づくり

- ・ 安全で安心な医療等のサービスが確保され、災害時における交通断絶のない地域づくりのため、都市と中山間地等を結ぶ幹線道路や生活道路等の道路網の整備、高知県の町における事例をはじめとする地域活性化バス、離島航路等公共交通サービスの維持・向上の推進
- ・ 徳島県の医師バンク事業や自治医科大学卒業医師等の中山間地域等への派遣等による医療従事者の確保や巡回診療等の医師の派遣、情報通信技術を活用した遠隔医療ネットワークの連携の拡大、緊急時の体制確保のための防災ヘリのドクターヘリの活用やドクターヘリの導入等を推進
- ・ まんのう町の「命見守りたい」をはじめとする新たな公による高齢者の「見守り」「介護」等の推進と、住宅等のバリアフリー化、高齢者福祉施設を併設した公的賃貸住宅整備への支援等による高齢者にとって安心な住環境整備の推進
- ・ 集落単位でのコミュニティクラスターによる災害自治活動、地元建設業者との連携や、土砂災害等の防止対策・密集地域の整備等の推進
- ・ 上勝町の事例をはじめとする若者居住や生活利便性の確保に向けたブロードバンドゼロ地域の解消促進、ケーブルテレビ網の整備等、情報通信環境の充実

(2) 農林水産業をはじめとする地域資源を活かしたビジネスチャンスの拡大・働く場の確保

- ・ 道の駅等での新鮮野菜・魚市場や廃校を利用したコミュニティビジネス等を支援するための省庁連携による支援体制の整備
- ・ 農林水産物の加工品開発や直販施設の整備等地域の創意工夫を活かした生産基盤を整備する取組、地域資源を活用した中小企業による新商品・新サービスの開発・事業化等の取組の推進
- ・ 香川県小豆島町における企業の農業参入の事例等地域の基幹産業である農林水産業や建設業等が保有する設備・ノウハウ等を活かして、農業・林業・観光業等の異業種

連携を進め、地域産業の再生や耕作放棄地の解消、雇用の維持・拡大を進める取組の推進

- ・ 集落共同による活動を活発化させることにより、耕作放棄地の解消や農業を軸とする集落の持続的活動を支援する取組の推進
- ・ 愛媛県上島町におけるコミュニティカフェの事例等 NPO によるコミュニティ・ビジネスの立ち上げ等を支援するための NPO 支援や担い手の研修等の取組の推進

(3) 都市との多様な交流促進と農山漁村の魅力の向上

- ・ 「癒しの国・四国 交流・定住促進事業」実行委員会と関係機関との連携強化、短・長期滞在関連情報のワンストップ情報提供サービスの充実や空き家の修繕活用等による複数地域居住の推進
- ・ 高知県幡多地域における子ども農山漁村滞在・体験型学習、高知県梶原町における棚田オーナー制度、愛媛県今治市におけるグリーンツーリズムやエコツーリズム等の農山漁村体験の取組の推進
- ・ 四万十川流域における重要文化的景観の選定等農山漁村の景観・環境保全のための取組や村祭り等地域の伝承・伝統行事を支える住民活動、施設の保全等の支援の推進
- ・ 徳島県美波町における事例をはじめとする農道・水路等を共同で管理する等の地域ぐるみのコミュニティ活動や地元産米等の地域資源を活かした農産品のブランド化等農業者ぐるみの先進的な営農活動を支援する取組を推進
- ・ 市町村の発意に基づく地域資源を活用した地域づくりを支援するため、関係省庁間で連携して適切な支援を行う体制を構築し、関係省庁の多様な支援ツールを用いた支援の推進

四国圏広域地方計画 プロジェクト骨子(案)

【四国霊場八十八箇所と遍路文化により地域をつなぐプロジェクト】

■目的・コンセプト

- ・四国霊場八十八箇所巡礼の歴史の中で培われてきた「信仰」や「お接待」といった「遍路文化」は、四国共通の文化・アイデンティティとして、次世代に引き継いでいく重要な文化であり、近年では、心身のリフレッシュ、精神修養の場として、歩き遍路も増加している。
- ・しかしながら、四国霊場八十八箇所の門前町の多くは、人口減少や高齢化によりかつての活気や景観が失われており、また、遍路道の保全をはじめ、地域資源・観光資源としての保全・活用が不十分な状況にあることから、周辺の観光拠点と合わせて地域の魅力の向上を図り、遍路道を通じて地域と地域をつなぎ、遍路文化を活かした美しい地域を次世代につないでいく必要がある。
- ・このため、(1)お遍路札所周辺の活性化、(2)安全で快適に巡る環境整備、(3)四国圏共有の歴史・文化遺産としての保全と活用に関連主体が連携して重点的に取り組む。

■具体的取組内容

(1) お遍路札所周辺の活性化

- ・四国遍路をコンセプトとしたまちづくり・地域づくりのための、各札所周辺・遍路道の文化的・広域的景観の保全・修景の促進、景観計画・歴史的風致維持向上計画等の策定の促進
- ・各札所周辺活性化等に向けた、地域住民を中心とした新たな公の担い手によるニーズ調査やまちづくり手法の研修（ワークショップを含む）等の活動の展開

(2) 安全で快適に巡る環境整備

- ・歩き遍路の主な経路における危険箇所対策の推進
- ・道の駅等の休憩所・公衆トイレの整備の促進
- ・休憩所・公衆トイレ・コンビニエンスストア等の場所・情報を記した遍路道全域MAPの作成

(3) 四国圏共有の歴史・文化遺産としての保全と活用

- ・「四国遍路世界遺産登録推進自治体協議会」等の枠組みの強化
- ・東アジアをはじめとする外国人観光客に対応する多言語による観光ボランティアガイドの育成、情報発信のコンテンツの多言語化
- ・修学旅行やビジネスツーリズムに対応した遍路文化の簡易体験型観光メニュー、モデルコースの地域商社・NPO・大手旅行代理店との連携による開発・展開
- ・遍路文化をテーマとした映画・ドラマ・短編映像等による情報発信の展開
- ・歴史文化道の表示、情報発信の展開

四国圏広域地方計画 プロジェクト骨子(案)

【瀬戸内フィールドミュージアムプロジェクト】

■目的・コンセプト

- ・瀬戸内海は、古くからの交流の歴史と多彩な自然を有する日本随一の内海であり、人々が訪れたい魅力ある地域とするため、環境の保全、景観の保全を行い、多様な歴史・文化遺産、美術館・博物館等の魅力をさらに高め、瀬戸内海及びその周辺を「瀬戸内フィールドミュージアム」として形成していくことが必要である。
- ・このため、(1)瀬戸内広域観光の形成と世界に向けた情報発信、(2)クルーズ観光の推進及び交通環境の整備、(3)地域住民、NPO、行政、企業等の多様な主体の連携による瀬戸内海の環境保全・活用・修復や景観保全に中国圏等の隣接する圏域とも連携して重点的に取り組む。

■具体的取組内容

(1) 瀬戸内広域観光の形成と世界に向けた情報発信

- ・東アジアをはじめ欧州等も視野に入れた瀬戸内海観光に関する情報発信の推進
- ・瀬戸内国際芸術祭の開催を契機に瀬戸内海の島々を紹介する取組の推進
- ・「瀬戸内アートネットワーク推進協議会」等による瀬戸内広域観光のモデルコースの設計、スタンプラリー、入館料割引等瀬戸内海における美術館等の連携の強化
- ・「瀬戸内しまなみ海道振興協議会」等の活動や「uminet.jp」等の瀬戸内海の情報を発信するポータルサイトの充実

(2) クルーズ観光の推進及び交通環境の整備

- ・瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会によるクルーズ船を活用した観光振興の推進
- ・観光の基盤等にも資する離島等の交通環境の整備の推進

(3) 地域住民、NPO、行政、企業等の多様な主体の連携による瀬戸内海の環境保全・活用・修復や景観保全

- ・住民、NPO、行政等によるネットワーク構築による環境保全等の取組の推進
- ・「リフレッシュ瀬戸内」活動等の多様な主体による海辺や海上でのごみ等の回収・処理の実施
- ・地元漁師等による海ごみの回収の体験会等を行う「瀬戸内海国立公園エコツアー」や「瀬戸内海海ごみ対策検討会」による海ごみ回収処理対策に関する啓蒙活動等の推進
- ・瀬戸内海の景観保全に向けた景観計画の策定の推進
- ・「瀬戸内海環境修復計画」に基づく多様な主体の連携・参画による浅場の修復
- ・瀬戸内海の水質改善に向けた沿岸域における下水道整備等の推進

四国圏広域地方計画 プロジェクト骨子(案)

【黒潮洗う南海輝きプロジェクト】

■目的・コンセプト

- ・四国の南部、特に西南地域、東南地域は、黒潮が運ぶ豊かな水産資源をはじめ、森林資源、温暖・多照な気候、四万十川に代表される清流や自然景観等に恵まれ、日本の原風景が残る魅力に富んだ地域である。
- ・こうしたポテンシャルを最大限に発揮させることで、生産と生活のバランスが取れた日本でも有数の質の高い暮らしのできる“輝き”を放つエリアを目指す。
- ・このため、(1)海洋資源を活かすフロンティアとしての取組推進、(2)日本一のふれあい体験空間を目指した活動推進に重点的に取り組む。

■具体的取組内容

(1) 海洋資源を活かすフロンティアとしての取組推進

- ・愛媛大学南予水産研究センターや高知大学等が連携して取り組んでいる、水産養殖技術の研究・開発、新たな養殖技術等をベースとした生産から加工・販売に至る新水産業クラスターの形成促進、安全・安心で持続可能な養殖漁業や豊かな海の保全・利用に向けた環境研究・教育の充実
- ・中国等東アジアをターゲットとした水産輸出体制の整備と輸出促進に向けた取組の推進
- ・海洋深層水を利用した商品群の開発と健康産業、観光産業への展開等の多面的な活用の促進
- ・真珠を利用したオリジナルデザイン商品、化粧品、四国内地場産業（漆器、和紙等）とのコラボレーション製品の開発等、真珠産業クラスターの形成と地域ブランド化
- ・イルカセラピー等の地域資源を活かした癒し効果の研究や、「黒潮実感センター」等で取り組んでいる環境学習・生涯学習の場としての活用促進

(2) 日本一のふれあい体験空間を目指した活動推進

- ・南東地域から西南地域までの太平洋側を日本一のふれあい体験空間「黒潮^{コリドー}回廊」とするため、「四国西南地域観光連絡協議会」や「宇和島圏域活性化協議会」、「AMA地域連携協定」等が県境を越えて連携し、観光ルートの設定や共同プロモーション、着地型エージェントの育成等の取組の促進
- ・フィッシング、ダイビング、サーフィン等マリンレジャーを始めとするアウトドアスポーツの拠点形成及び国内外に向けた情報発信
- ・温暖な気候等を活かしたスポーツ合宿村の形成
- ・重要文化的景観に選定された四万十川流域等の観光圏整備やエコリゾートの形成に向けた資源の掘り起こしと保全の推進

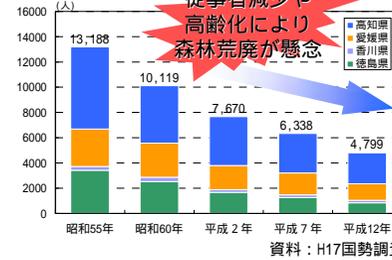
緑の島四国の森林共生プロジェクト

目的・コンセプト

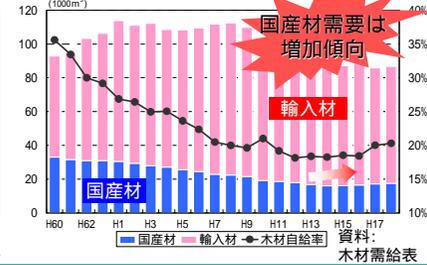
森林資源を活用した圏域の活性化と次世代への継承

- ・四国圏の約75%を占める森林は、国土の保全、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、木材の供給等の多面的機能を有し、圏域住民の生活に広域的に恩恵をもたらす「**緑の社会資本**」である。
- ・また、国産材需要の増加傾向、CO₂吸収源としての価値の高まりを受け、これらの**資源を活用した圏域の活性化**を図るとともに**森林資源の持続的な循環利用を推進**し、この恩恵を次世代に引き継いでいく必要があるため、「CO₂吸収源としての価値に着目した取組」、「林業と木材産業の一体的な再生及び森林資源の循環利用」、「四国の美しい森林づくり」に重点的に取り組む。
- ・プロジェクトの推進にあたって、国、地方公共団体、事業協同組合、NPO、学識経験者、住宅建設産業団体等で構成される協議会を立ち上げ、推進体制の確立を図る。

【林業従業者数の推移】



【木材(用材)需要の推移】



具体的取組内容

(1) CO₂吸収源としての価値に着目した取組

「CO₂吸収認証制度」について、各県の取組成果を踏まえて四国圏全体における認証制度の導入を推進

高知県で取り組まれている「高知県協働の森CO₂吸収認証制度」



国内CO₂排出権取引「オフセット・クレジット制度」を活用した森林間伐活動の促進



2009年3月、高知県が県内のセメント工場で行っているCO₂削減の活動がオフセット・クレジットの第1号として認証

(2) 林業と木材産業の一体的な再生及び森林資源の循環利用

民間住宅や公共施設整備における四国産木材の活用拡大

徳島県で行われている住宅資金貸付制度のイメージ



四国産木材の活用事例(公共施設)



森林の団地化等、木材の安定供給・林業の再生を図る体制づくり

高知県が進めている「森の工場」(団地化)のイメージ



森林の団地化：所有者の違う森林において、施業・経営の集約化を図ること

ハイブリッド木質材の開発・利活用、4県の公設試験研究機関の情報共有化



木質バイオマスの利用の拡大に向けた、残材収集・搬送システムの開発、残材・間伐材の地産地消の促進、技術開発や製品の販路開拓の支援

那賀町では、木質バイオマスを含めた、総合的なバイオマス利用の拡大にむけ「那賀町バイオマスタウン構想」を策定。本構想では、燃料材利用(木質ペレット)だけではなく、ウッドケミカル分野に関する開発を含んだ計画を策定。



(3) 四国の美しい森林づくり

「四国の森づくりに関する共同宣言」に基づく、行政、民間団体、住民等との協働による4県全域を対象とした森林整備、森林環境教育活動等の推進

自然環境の保全、再生や河川への濁水流出防止等に資する、行政、NPO、上下流住民等の連携による流域保全の推進

森林保全活動の事例(愛媛県内)



【オイスカ愛媛県支局】

野生鳥獣被害の防止に向けた4県連携による適切な鳥獣保護管理の実施

シカの食害が拡大する三嶺系の山林で、徳島・高知両県の中学生が、防護ネットを巻く作業を共同で実施(H20.11.11)

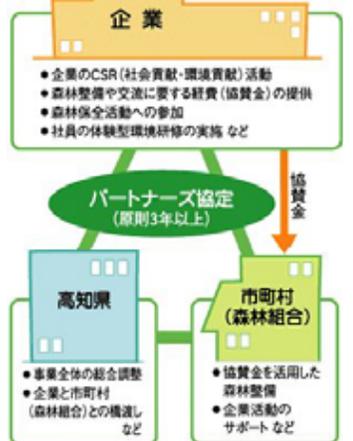


【徳島県・木頭中学校】

緑の回廊等の適正な管理の実施、エコロジカルネットワーク構想策定等に向けた取組の推進

圏域内外の企業等と行政・森林組合等との協定の締結等による森林づくりの推進

高知県で取り組まれている「環境先進企業との協働の森づくり事業」の仕組み



「フォレストマッチング」(香川県)

森林情報をCSRに関心のある企業等に県が情報提供し、企業等、県、市町等で協働の森づくり協定を締結。企業は経費負担を行い、社員の参加により、植林・下狩・間伐といった森づくり活動を実施

南海と瀬戸内の食彩展開プロジェクト

目的・コンセプト

「四国の食」ブランドの確立・強化と

国内・国外における競争力の強化

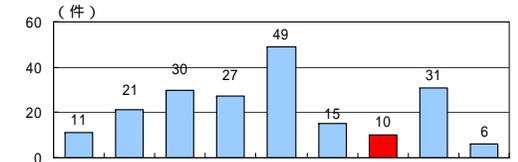
- ・四国圏では、高知のかつお、愛媛のみかん等全国的にも有名な食材が数多く存在している。
- ・これら「四国の食」ブランドの普及促進を展開して、商圏の拡大や食材の1.5次産業化を進めることにより、圏域を支える産業の一つである農林水産業の競争力の強化を図るとともに、圏域内の食料自給力を高め圏域外へも安定的に食料供給できる体制を確立する。
- ・プロジェクトの推進にあたって、国、地方公共団体、事業協同組合、運送業者等をメンバーとする協議会を立ち上げ、推進体制の確立を図る。

【認知度の高い四国の一次産品】



資料：四国経済連合会「四国外住民の認知度」
(四国の一次産品に関するアンケート)

【地域団体商標登録査定件数(食に関する件数)】



資料：経済産業省 特許庁 地域団体商標2008(H20.6)

具体的取組内容

(1) 「四国の食」ブランドの確立・強化に向けた生産者への支援、食関連産業の育成

品質強化のための4県共通の認証制度設計の取組やブランド力の強化

「とくしま安²(あんあん)農産物」認証制度

「とくしま安²農産物」認証制度の概要



海外向け製品のMSC認証の獲得



MSC認証とは、水産資源や海洋環境を守って獲った水産物に与えられる証。土佐鰹水産(株)(高知県)が、カツオ漁で世界初の認証本審査開始。(国内漁業では2例目)

四国圏の地域団体商標登録の普及拡大



四国圏では全国的に有名な食が多数存在。

産学官連携・農商工連携による栽培・養殖技術や新品種改良等の技術開発の促進



「とくしまSOYくふう」
産学官連携により、農商工連携での大豆副産物(おから)を有効活用した安心安全な食品や地域資源循環型ビジネスを創出する活動により生まれた製品の総称ブランド

生産量増加に向けた取組や農林水産業の経営強化に向けた支援の推進

【農商工連携ファンド】

中小企業者と農林漁業者との連携体が実施する新商品の開発等の新たな取り組みに対して助成金を交付するスタート・アップ応援型のファンドであり、各県の地域の特徴やニーズに応じ、中小企業者と農林漁業者が協力して行う農商工連携による地域経済の活性化を目指すもの。

(土佐黒潮牧場の鋼製大型パイ)

【土佐黒潮牧場】

鋼製大型浮魚礁パイを土佐湾沖合に設置し、パイの周りに集まった魚を効率的に漁獲。現在12基の浮魚礁が高知県海域に設置。

地産地消の普及拡大

ぎょよく教育



「愛媛大学商予水産研究センター」では地域と密着した食育活動として、「ぎょよく教育」の展開を図っている。

学校給食における地産産食材の利用



南国市では中山間地域の棚田米や市内産青果の学校給食導入を実施
今治市の学校給食の食材には、地産産の農産物を優先的に使用

(2) 東アジアをはじめとする国外や国内市場における競争力強化

国外及び大都市圏での四国ブランド商品の販路拡大に向けた4県連携によるプロモーション活動の実施



香川・愛媛せとうち旬彩館

首都圏における香川県・愛媛県の観光物産情報発信の拠点として開設した全国で初めての二県共同によるアンテナショップ。

東南アジアでのPR活動

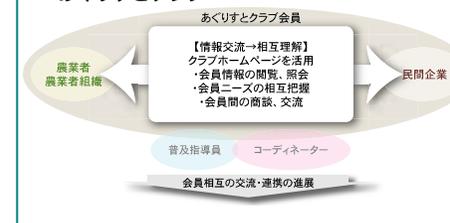


「上海にアンテナショップ開設(4県知事会談より2009.2開催)」
上海中心部にある展示即売施設の一角にアンテナショップを開設し、農水産加工品や調味料、地酒など4県の特産品を並べ、現地の事業者らへPRする。

(3) 「四国の食」ブランドを支える農林水産物の生産体制の確立

農林水産業を支える経営感覚に優れた農林漁業者の育成、集落営農組織の育成・法人化、新規就農者の育成・確保

あぐりすとクラブ



生産段階における「食品安全のためのGAP」の推進、トレーサビリティの取組の推進

農地・農業用水等の生産基盤の適切な整備・保全の推進

きらり輝く技術力・健康支援産業クラスター形成プロジェクト

目的・コンセプト

産業支援活動・産業基盤整備と産業クラスターの形成

- ・四国圏には、世界的シェアを有する先端素材産業や地域ごとに特徴を有する多様な産業集積が存在し、それを支える技術力が蓄積されており、瀬戸内海沿岸域の造船・船用産業クラスターをはじめとするものづくりや健康・バイオを中心とした医療福祉分野に関するミニクラスターが形成されつつある。
- ・ミニクラスターを面的広がりのある重層的なネットワークへと発展させていくため、圏域内の市場の小ささ、新たな発想や時代を先取りする情報に触れる機会の少なさ等の課題を克服しつつ、広域連携等に向けた産業支援活動や産業基盤整備等を進め、造船業をはじめとするものづくりクラスターと健康支援産業クラスターの形成を目指す。

【四国内のトップシェア企業】

世界に誇れる企業が多数存在

	世界一・日本一
徳島県	15 (2)
香川県	29 (3)
愛媛県	37 (5)
高知県	18 (2)

資料) 四国が誇る日本一・世界一 (H16 四国経済産業局)

【四国テクノブリッジ計画】



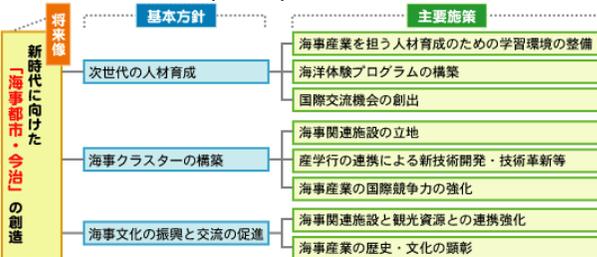
地場技術を活かしたものづくりや健康バイオ分野のクラスターが形成

具体的取組内容

(1) クラスターの形成・成長に向けた取組の推進

造船・船用産業や海運業等の活性化に向けた取組の推進

今治市海事都市構想 (今治市)



素材研究・製品開発等の実験機材・情報等の共有化による圏域内のクラスター間の連携推進

クラスター形成のコアとなる分野に関する産学官連携の取組の推進

【ZnOビジネス21フォーラム】
ZnOは次世代の電子材料、光学材料として、その特異な物性を背景に、多くの期待が寄せられている。
本フォーラムはこれからのビジネスモデルとして、出口を個々に明確にした、「材料メーカー」、「装置メーカー」、「エンドユーザー」による縦型ヴァリューチェーンモデルを目指すことを目的として設立。

コア企業の支援、優位技術の情報発信



産業クラスター形成等のための取組の推進

- <徳島県>
 - ・LEDバレイ構想
 - ・徳島健康・医療クラスター構想
- <香川県>
 - ・糖質バイオクラスター構想 等

ものづくり

LEDバレイ構想 (徳島県)

基本目標「21世紀の光源であるLEDを利用する光 (照明) 産業の集積」



【光カゼボドーム】



【LED街路照明灯】

ものづくり分野における優位技術の例



【酸化亜鉛膜液晶パネル】



【ナノピンセット】



【デザイナーとのマッチングによる商品開発】～そうじくろス～

健康・バイオ

糖質バイオクラスター構想 (香川県)

「希少糖プロジェクト」や「機能糖鎖プロジェクト (糖鎖・複合糖質)」等の糖質バイオ研究を生かした、新製品や新事業を生み出す国際的な研究拠点や産業集積の形成



健康・バイオ分野における優位技術の例



【希少糖試薬】



【小麦発酵抽出物を活用した化粧品】



【酸素ガス加圧食品殺菌装置】

(2) 世界市場等への事業展開に向けた広域的連携の推進

他圏域の産業クラスターとの連携、製品・技術・販路の交流・連携の促進



札幌 & 四国BIOビジネス マッチングin大阪 (平成20年1月31日)



【セミナー風景】
四国テクノブリッジフォーラムミニセミナー in名古屋 (平成20年1月23日)

大学等の研究成果の紹介や技術移転、産学連携の共同研究立ち上げ、知的財産活用を支援する取組の推進



四国TL0

多様な主体の参加・連携によるクラスターを支える新事業展開を資金面等から支援する取組の推進

【とくしま経済飛躍ファンド】
競争力を有するオンリーワン産業を創造するため、その推進に資する各種事業を行おうとする中小企業者等に対し、事業の実施に必要な経費の一部を助成し、徳島県の産業振興、地域経済の活性化を図るもの。

【かがわ中小企業応援ファンド】
中小企業者や地場産業関係組合等の研究開発や販路開拓、人材育成等に対して総合的な支援を行うことにより、地域経済の活性化を図るもの。

静脈物流ネットワークの形成に向けたリサイクル拠点の整備の推進



愛媛県三島川の江港完成予想図

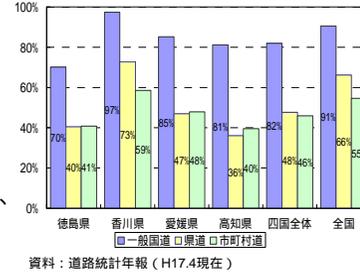
圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト

目的・コンセプト

活力・魅力あふれる地域の形成

- ・四国圏が自立し持続的に発展していくためには、交流人口を増やすとともに、住みやすい、住みたくなる地域とすることが重要であり、そのためには、圏域の**活力や魅力を高め、地域力を向上**させる必要がある。
- ・そこで、圏域内の連携意識や一体感を高める地域の活動や交通ネットワーク基盤の強化等により、**圏域内及び東アジアを含む他圏域との交流・連携を図るとともに、中心市街地の活性化等による都市機能の強化に取り組み、活力・魅力あふれる地域の形成**を目指す。

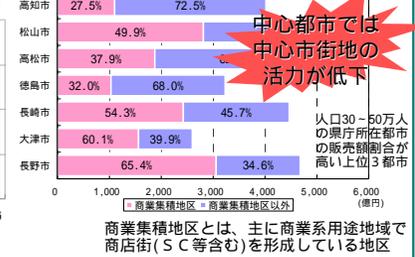
【道路改良率の状況】



【四国の重要港湾入港外航船の一隻あたり平均総トン数の推移】



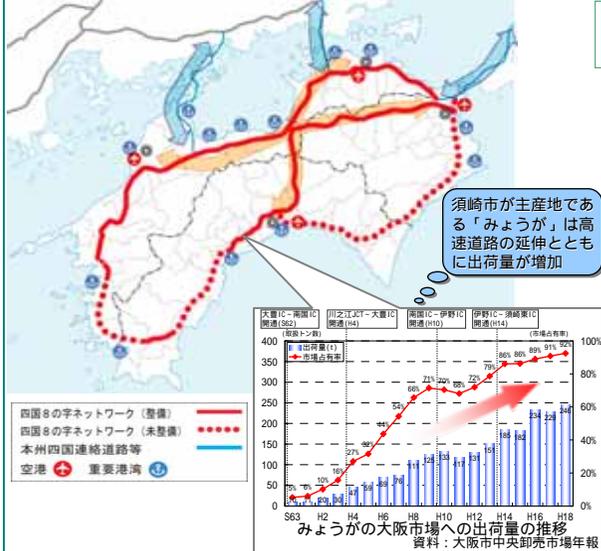
【商業集積地区における販売額構成比】



具体的取組内容

(1) 交通インフラの整備等による圏域内における交流の活性化や国内他圏域との交流・連携の強化

圏域内外の交流活性化等による活力と魅力の向上に必要不可欠な四国8の字ネットワークの整備推進



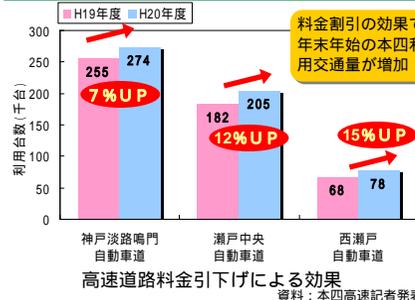
都市と中山間地や重要港湾・空港と高速道路ICを連絡する幹線道路の整備推進

道路情報や災害情報等の移動支援に向けた情報提供サービスや情報通信環境の充実



住民総参加型による地域力再生の取組の促進

本四架橋のより一層の効果的な利用による四国圏外との交流・連携の促進による広域観光の推進



国内他圏域と四国を結ぶ海上輸送の拠点となる複合一貫輸送ターミナル等の整備推進

交流促進を支えるターミナル機能の強化



(2) 国際ゲートウェイとしての港湾・空港及び国際幹線航路の機能強化

港湾がもつ特長を活かした広域的な連携や船舶の大型化等に対応した多目的国際ターミナル等港湾施設整備の推進

開発保全航路の開発・保全・管理の実施と総合的な航行安全対策の推進

圏域内や近接圏域の空港との連携により、国際定期便や国際旅客チャーター便の就航によるインバウンド観光の推進

国際線のチャーター便



国際定期コンテナ航路の就航便増加や新たな航路の誘致推進



スーパー中枢港湾と結ぶ内航フィーダー網の充実

港湾関連手続きの効率化等、四国の港湾・空港におけるサービス水準の向上

(3) 都市における機能強化・集約化と良好な都市空間の形成及び都市の役割分担と連携の強化

都市機能が強化・集約化された都市拠点の形成に向けた都市基盤整備の推進



魅力的な歴史的風致をもつまちづくりの推進やまち並み環境の保全等による景観形成の促進



まちなかへの公共公益施設の立地促進、都市公園・緑地の整備、空き店舗等既存ストックの有効活用等による良好な都市空間整備の推進

歩いて暮らせるまち・環境に優しいまちの実現に向けた公共交通の利用促進・利便性の向上、歩行空間等の整備推進

自然エネルギー由来の電力創出を通じたエネルギーが循環するまちづくりの推進



川を活用した賑わい創造の活動や、川を通じた周辺市町村との連携等による賑わいのあるまちづくりの促進

定住自立圏構想の取組の推進

防災力向上プロジェクト

目的・コンセプト

安全・安心に暮らせる災害に強い圏域の形成

- ・四国圏は、地形的特性や台風常襲地帯に位置していること等から、毎年のように水害、土砂災害、高潮災害等が発生しているとともに、近い将来、**東南海・南海地震とこれによる津波**の発生が予想されており、これらの**災害に対応しうる防災力の向上**が急務となっている。
- ・また、慢性的に発生し、住民生活や企業活動等に大きな影響を与えている**水不足**に対しても適切に対応し、**安全・安心に暮らせる災害に強い圏域を形成**することが必要である。

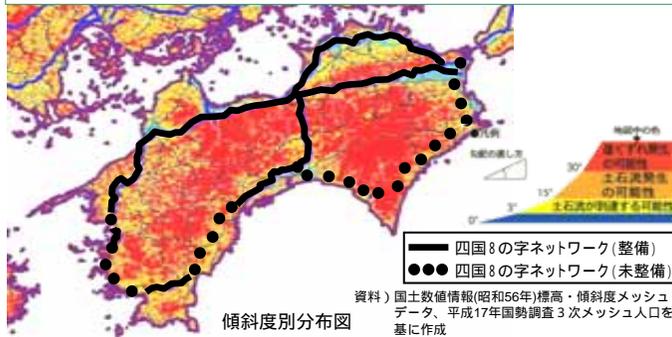
【1人当たり自然災害被害額】
(平成8年から17年の平均)



具体的取組内容

(1) 地震災害や台風・豪雨災害の軽減に向けたインフラ整備と防災施設整備

圏域の安全・安心を支える基盤となる四国8の字ネットワーク整備推進



台風・豪雨による水害や土砂災害を軽減する河口導流やダム・砂防堰堤建設、老朽ため池対策、治山施設の設置等の推進



地震発生時に危険な住宅密集地の解消

(2) 災害時の広域的な相互救援活動を円滑にする連携体制の整備や自主的な防災組織の確立に向けた住民の防災意識の向上

防災ハザードマップの早期整備・普及の推進

災害時の連絡体制の充実を目的とした取組の推進

4県による四国圏内や他圏域との協定を活用した相互応援体制構築の推進

国、県、自治体、大学、民間事業者による業務継続計画(BCP)の策定の推進

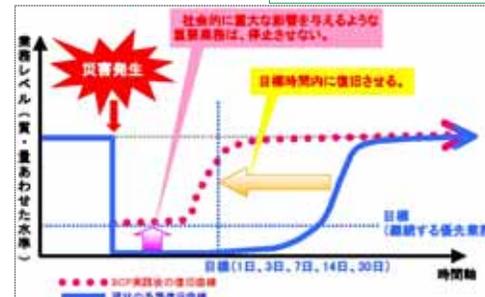


地域の防災力向上への取組の促進

県、自治体とコンビニエンスストア等の民間事業者等との連携による帰宅困難者支援協定の締結の推進

自主防災組織の結成促進及び育成や活性化の指導

高齢者等に対する災害時要援護者対策の推進



(3) 新たな水資源の確保と水資源の有効活用等による安定した水資源の確保

新たな水資源の確保のための、湧水発生頻発地域におけるダムの建設・既設ダムの再開発・ため池の整備の推進

香川県多度津町における下水再生水の利用や高松市における雨水利用貯留施設等への助成金制度等、水資源の循環利用促進のための取組の普及拡大



効率的な水資源利用のため、水利使用の調整や「節水型都市づくり」の拡大

四国圏における水資源の有効活用と治水・利水・環境の合理的な恒久対策及び実施方針の確立



具体的取組内容

(2) 農林水産業をはじめとする地域資源を活かしたビジネスチャンスの拡大・働く場の確保

コミュニティビジネス等を支援するための省庁連携による支援体制の整備



道の駅等での新鮮野菜
(徳島県 道の駅「日和佐」)

グランドを駐車場利用



廃校を活用した複合住宅 (徳島県上勝町)



居住スペース



フォーラム「四国サイコー」

中国四国農政局、四国経済産業局、中小企業基盤整備機構四国支部との共同で、地域の活性化を図るために国が進めている「新連携事業」、「地域資源活用事業」及び「農工商等連携事業」に取り組む事業者及びそれらを支援する関係機関等を参加メンバーとする組織体で、メンバー相互の交流や支援機関等によるハンズオン支援を通じた新たな事業展開の芽の育成や売れる商品づくり、国内外への事業展開の促進を目的として設立。

地域の創意工夫を活かした生産基盤を整備する取組、地域資源を活用した中小企業による新商品・新サービスの開発・事業化等の取組の推進



四国地域資源活用ハンドブック

【地域産業資源活用事業計画の認定事例】



ゆずスポーツドリンクの開発・販売等 (高知県馬路村)



新製法による柑橘オリーブオイル
基礎化粧品の開発・生産・販売
(香川県小豆島町)



農工商連携ハンドブック

【農工商等連携事業計画の認定事例】



徳島杉の間伐材を利用したつみき型
ブロック工法による新しい企画住宅の
設計・販売 (徳島県東みよし町)



特別栽培農産物等認証の完熟
トマトを活用した加工食品の
開発・製造等 (愛媛県内子町)

農業・林業・観光業等の異業種連携を進め、地域産業の再生や耕作放棄地の解消、雇用の維持・拡大を進める取組の推進

企業等の農業等異業種への参入



「建築廃材を活用した塩化ビニール
パイプのかん水施設」
(香川県小豆島町)

耕作放棄地の解消や農業を軸とする集落の持続的活動を支援する取組の推進

NPOによるコミュニティ・ビジネスの立ち上げ等を支援するためのNPO支援や担い手の研修等の取組の推進

(3) 都市との多様な交流促進と農山漁村の魅力の向上

複数地域居住の推進

短・長期滞在関連情報のワンストップ情報提供サービスの充実



【癒しの国・四国で暮らすホームページ】
(癒しの国・四国 交流・定住促進事業実行委員会)



【愛媛移住支援ポータルサイト (愛媛県)】

空き家の修繕活用等



空き家バンク (愛媛県久万高原町)

農山漁村体験の取組の推進

子ども農山漁村滞在・体験型学習
カツオたたき体験 (高知県幡多地域)



棚田オーナー制度

神在居の千枚田
(高知県橋原町)



グリーンツーリズムやエコ
ツーリズム等の農山漁村体験



技の館ふれ藍工房
(徳島県上板町)

農山漁村の景観・環境保全のための取組や地域の伝承・伝統行事を支える住民活動、施設の保全等の支援の推進

重要文化的景観の選定

【全国初の5市町連携による重要文化的景観に選定】
(高知県四万十町・梶原町・津野町・中土佐町・四万十市)



三島中州の農地 (四万十町)

【重要文化的景観 (文化庁)】

重要文化的景観の選定制度は、平成17年4月1日の文化財保護法の一部改正により施行された新しい文化財保護の手法がある。日々の生活に根ざした身近な景観である文化的景観の中でも、文化財としての価値から特に重要なものについて、都道府県又は市町村の申出に基づき、「重要文化的景観」として選定することができる。

地域ぐるみのコミュニティ活動や農業者ぐるみの先進的な営農活動を支援する取組の推進

農道・水路等の草刈りや清掃活動による環境保全
ホテルの里づくり清掃活動
(愛媛県四国中央市)



花植 (徳島県阿波市)

地元産米等の地域資源を活かした
農産物のブランド化

「安田の郷」
(香川県小豆島町)



「乙姫米」
(徳島県美波町)

【農地・水・環境保全向上対策
(中国四国農政局)】
農地・農業用水等の資源の適切な保全管理が、高齢化や混雑化等により困難になってきていること等、農業生産全体の在り方を環境保全を重視したものに転換していくことが求められていることから、地域ぐるみで効果の高い共同活動と、農業者ぐるみでの先進的な営農活動を支援する「農地・水・環境保全向上対策」が平成19年度からスタートした。

関係省庁間で連携して適切な支援を行う体制の構築、関係省庁の多様な支援ツールを用いた支援の推進

市町村の発意に基づく地域資源を活用した地域づくり
【「地方の元気再生事業」に選定された団体 (抜粋)】



「伝説が見える・伝わる、観光まちづくり」(徳島県三好市)

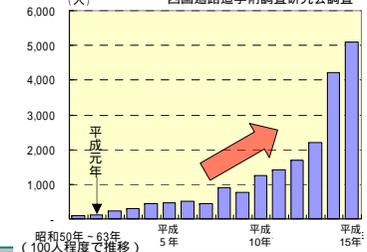
四国霊場八十八箇所と遍路文化により地域をつなぐプロジェクト

目的・コンセプト

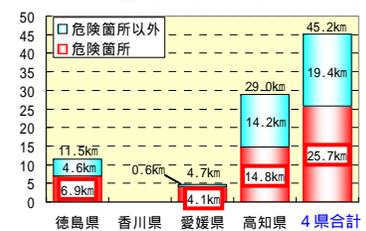
四国霊場八十八箇所と遍路文化を核としたまちづくり・地域づくりの展開

- 四国霊場八十八箇所巡礼の歴史の中で培われてきた「信仰」や「お接待」といった「遍路文化」は、**四国共通の文化・アイデンティティとして、次世代に引き継いでいく重要な文化**であり、近年では、心身のリフレッシュ、精神修養の場として、歩き遍路も増加している。
- しかしながら、四国霊場八十八箇所の門前町の多くは、人口減少や高齢化によりかつての活気や景観が失われており、また、遍路道の保全をはじめ、地域資源・観光資源としての保全・活用が不十分な状況にあることから、周辺の観光拠点と合わせて地域の魅力の向上を図り、遍路道を通じて地域と地域をつなぎ、遍路文化を活かした美しい地域を次世代につないでいく必要がある。

【歩き遍路の数（雲山寺「歩き遍路」の記載数）】
四国遍路道学術調査研究会調査



【歩き遍路が利用する直轄国道の歩道未整備区間うち危険な箇所】



具体的取組内容

(1) お遍路札所周辺の活性化

四国遍路をコンセプトとしたまちづくり・地域づくりのための景観計画・歴史的風致維持向上計画等の策定の促進

にぎわいのある札所周辺のまち並み 景観資源の発掘と景観のまちづくりのためのワークショップ (徳島県)



地域住民を中心とした新たな公の担い手によるニーズ調査やまちづくり手法の研修等の活動の展開

門前通り修景イメージ



四国霊場第一番の門前まちとして商店街の再構築を模索し、「JR四国板東駅をまちの玄関口とし「おもてなしステーション化」と「発心とふれあいのまちづくり」を目指して検討中

お接待研修 (愛媛大学)



「お接待の心」、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、チームワーク力の養成等を目的に実施

へんろ道調査2007 (四国風景街道)



(2) 安全で快適に巡る環境整備

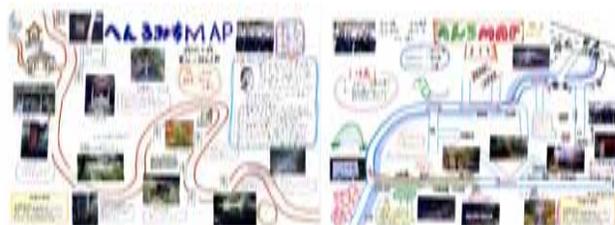
歩き遍路の主な経路における危険箇所対策の推進



休憩所・公衆トイレの整備の促進



休憩所・公衆トイレ等の場所・情報を記した遍路道全域MAPの作成



内海中学校 (愛媛県愛南町) の学生により作成された手作りマップ

(3) 四国圏共有の歴史・文化遺産としての保全と活用

四国遍路世界遺産登録推進自治体協議会等の枠組み強化

官民協働の世界遺産登録に向けた取り組み NPOによる遍路道のごみの実態調査 (四国EPO)

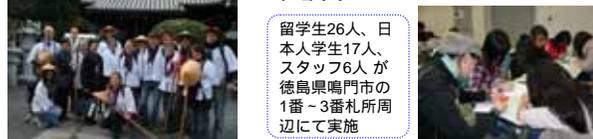


四国地域の環境保全活動、ごみ問題への啓発推進に繋がればと、実態調査を実施

外国人観光客に対応する多言語による観光ボランティアガイドの育成、情報発信のコンテンツの多言語化

遍路文化の簡易体験型メニュー、モデルコースの地域商社・NPO・大手旅行代理店との連携による開発・展開

外国人のための遍路体験 留学生と日本人の「お接待」ワークショップ



留学生26人、日本人学生17人、スタッフ6人が徳島県鳴門市の1番～3番札所周辺にて実施

サイクル駅伝



遍路文化をテーマとした映画等の情報発信の展開

NPO法人「ループ88四国」は四国霊場八十八箇所を題材にした短編映像を制作し、2009年春にも中国で放映

歴史文化道の表示、情報発信の展開



歴史文化道の表示例

瀬戸内フィールドミュージアムプロジェクト

目的・コンセプト

環境保全と魅力向上によるフィールドミュージアムの形成

- 瀬戸内海は、古くからの交流の歴史と多彩な自然を有する日本随一の内海であり、人々が訪れたい魅力ある地域とするため、**環境の保全、景観の保全**を行い、**多様な歴史・文化遺産、美術館・博物館等の魅力をさらに高め、瀬戸内海及びその周辺を「瀬戸内フィールドミュージアム」として形成していくことが必要である。**
- 国、地方公共団体、美術館等の運営事業者、海運関係者、観光関係者等の協働・連携のもと、プロジェクトの推進のための枠組みを整え、中国圏等の隣接する圏域とも連携した取り組みを行う。



【瀬戸内海沿岸の主要観光地入込状況】

施設名	単位	18年度	19年度
徳島県 大鳴門橋架橋記念館	人	73,827	95,391
徳島県 渦の道	人	591,916	597,660
徳島県 阿波おどり会館	人	125,363	151,375
香川県 栗林公園	人	622,602	624,881
香川県 香川県立ミュージアム	人	100,075	72,481
香川県 二十四の離れ画村	人	216,094	217,915
香川県 寒霞渓ロープウェイ	人	256,000	273,000
香川県 瀬戸大橋記念館	人	75,468	82,760
香川県 琴平の入込客数	人	2,975,000	3,202,000
香川県 中津万象園(有料入園者のみ)	人	42,438	36,116
香川県 地中美術館(直島)	人	92,113	120,815
愛媛県 しまなみ海道レンタサイクル	人	21,875	23,628
愛媛県 村上三島記念館	人	4,085	4,297
愛媛県 大三島美術館	人	8,538	8,710
愛媛県 村上水軍博物館	人	45,948	48,492

「平成19年度四国の主要観光地入込状況について」(H20.7.16 四国運輸局)を基に加工

具体的取組内容

(1) 瀬戸内広域観光の形成と世界に向けた情報発信

海外に向けた瀬戸内海観光に関する情報発信の推進

英語版観光PRサイト(高松市)



高松港とフェリー等で結ばれる直島が「現代アートの島」として欧米から注目されており、行き帰りに高松に立ち寄ってもらうことが狙い。

瀬戸内国際芸術祭の開催を契機に瀬戸内海の島々を紹介する取組の推進

瀬戸内国際芸術祭



2010年7月19日～10月31日
瀬戸内海の7つの島+高松(直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島)

島々の歴史や文化を活かした現代アートの祭典

瀬戸内広域観光のモデルコースの設計や入館料割引等による瀬戸内海における美術館等の連携の強化

せとうち美術館ネットワーク(本四高速)



旅の美術館手帖(瀬戸内アートネットワーク)

博物館めぐりポイントカード(四国地区博物館協議会)



瀬戸内海の情報を発信するポータルサイトの充実

瀬戸内・海の路ネット ワーク推進協議会



瀬戸内しまなみ海道振興協議会



平成19年4月1日「瀬戸内しまなみ海道周辺地域振興協議会」と「瀬戸内しまなみ海道観光推進協議会」が統合して設立。

(2) クルーズ観光の推進及び交通環境の整備

クルーズ船を活用した観光振興の推進

せとうちクルーズフェスタと瀬戸内海ミニクルーズ



離島等の交通環境の整備推進

直島への就航便



2009年1月1日から豊島(香川県小豆郡土庄町)と直島、高松を結ぶ定期航路「アートライン」が就航。豊島の家浦港 高松港間の1日3往復を金、土、日曜と祝日に限り4往復に増やし、そのうち2往復は直島の本村港を経由

(3) 地域住民、NPO、行政、企業等の多様な主体の連携による瀬戸内海の環境保全・活用・修復や景観保全

住民・NPO・行政等のネットワーク構築による環境保全等の取組推進
多様な主体による海辺や海上でのごみ等の回収・処理の実施

平成20年度リフレッシュ瀬戸内の実施状況



17才女性 今年はずっと暑くて倒れそうだったけど、キレイになった砂浜を見たら気分が良かったです。今年の夏も皆さんに気分良く泳いでいただけたと思います。

四国地方では22,545人参加し237tを回収
中国地方では27,137人参加し180tを回収

海ごみ回収処理対策に関する啓蒙活動等の推進

瀬戸内海の景観保全に向けた景観計画の策定推進
「瀬戸内海環境修復計画」に基づく多様な主体の連携・参画による浅場の修復

瀬戸内海環境修復計画



沿岸域における下水道整備等の推進

下水道普及率(H19年度末)

徳島県	12.1%
香川県	38.6%
愛媛県	44.7%

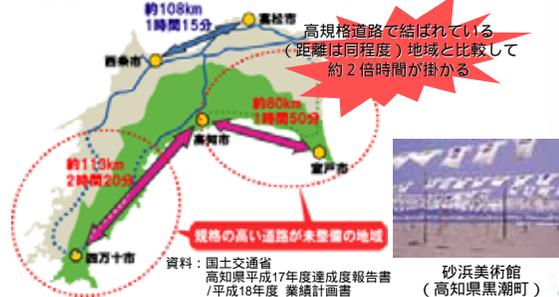
黒潮洗う南海輝きプロジェクト

【目的・コンセプト】

「質の高い暮らしの空間」として“輝き”を放つエリアの創出

- ・四国の南部、特に西南地域、東南地域は、黒潮が運び豊かな水産資源をはじめ、森林資源、温暖・多照な気候、四万十川に代表される清流や自然景観等に恵まれ、**日本の原風景が残る魅力に富んだ地域**である。
- ・こうしたポテンシャルを最大限に発揮させることで、**生活と生産のバランスが取れた日本でも有数の質の高い暮らしのできる“輝き”を放つエリアを目指す。**
- ・そのための取組を戦略的に実施するとともに、さらなる新たな地域資源の掘り起こし等を行うため、国、地方公共団体、事業協同組合、NPO、大学、民間事業者等をメンバーとする協議会を立ち上げ、推進体制の確立を図る。

【四国内の都市間所要時間の比較図】



【四国の西南地域、東南地域の魅力】

多様な魅力に富んだ地域

高知県で春期キャンプを行うプロ野球・Jリーグ（高知県）

室戸ドルフィンセンター（高知県室戸市）

砂浜美術館（高知県黒潮町）

【具体的取組内容】

(1) 海洋資源を活かすフロンティアとしての取組推進

生産から加工・販売に至る新水産業クラスターの形成促進、安全・安心で持続可能な養殖漁業や豊かな海の保全・利用に向けた環境研究・教育の充実

新水産業クラスターの形成促進



「愛媛大学南予水産研究センター」愛南町や愛媛県等の協力を得て、愛媛大学が水産に関する総合的な研究施設として設置。養殖技術の研究開発のみならず、漁業地域の社会・文化の分析を行い地域活性化の研究も行う、水産業の総合的な研究センター。



豊かな海の保全・利用に向けた環境研究・教育の充実

東アジアをターゲットとした水産輸出体制の整備と輸出促進に向けた取組の推進

海洋深層水を利用した商品群の開発と健康産業、観光産業への展開等の多面的な活用の促進



海洋深層水を利用した商品群の開発

健康産業、観光産業への展開



「バーデハウス室戸（高知県）」バーデール（タラソテラピー）

真珠産業クラスターの形成と地域ブランド化

真珠産業クラスターの形成



「宇和島 海の恋人まつり」2009.2.28～3.2

地域ブランド化の推進



イルカセラピー等の地域資源を活かした癒し効果の研究や、環境学習・生涯学習の場としての活用促進



環境学習・生涯学習の場としての活用

「海藻押し葉づくり」親子サマースクール（高知県柏島 2008.8.18）NPO法人 黒潮美感センター

(2) 日本一のふれあい体験空間を目指した活動推進

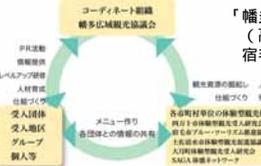
南東地域から西南地域までの太平洋側を日本一のふれあい体験空間「黒潮回廊（コリドー）」とするため、「四国西南地域観光連絡協議会」や「宇和島圏域活性化協議会」、「AMA（阿南市・室戸市・安芸市）地域連携協定」等が県境を越えて連携し、観光ルートの設定や共同プロモーション、着地型エージェントの育成等の取組の促進

連携協定を結んでいるAMA（阿南市・室戸市・安芸市）



「AMA地域連携協定を締結」徳島県阿南市、高知県室戸市、安芸市の3市で県境を越えてパートナーとなり、広域的かつ戦略的な観光及び地域振興に取り組むため、2008年5月28日に協定を締結した。

地域のネットワーク化の促進



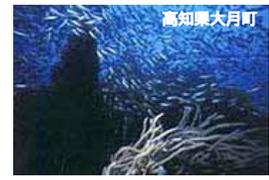
教育旅行を広域的に実施できる地域づくりの取組。現在の体験入システムの流れ。

アウトドアスポーツの拠点形成及び国内外に向けた情報の発信

フィッシング



ダイビング



サーフィン



発光ダイオード光のまち・阿南「ひかりのまちステーションプラザ」（徳島県阿南市）

温暖な気候等を活かしたスポーツ合宿村の形成

【宇和島市・愛南町合宿案内サイト】



【四万十スタジアム】（高知県四万十市）社会人・大学生のキャンプ

重要文化的景観に選定された四万十川流域等の観光整備やエコリゾートの形成に向けた資源の掘り起こしと保全の推進

四万十川流域などの観光整備



【幅多観光ビジターセンター】資源の掘り起こしと保全の推進

